



令和の時代の『ふくし』

鷹の巣福祉村地区社会福祉協議会
会長 山本 勝幸

今年の鷹の巣福祉村地区の種々の総会は、昨年に引き続き、書面決議となってしまいました。新型コロナウイルス感染症の影響とはいえ、みなさまとご対面の上、たくさんのお話をお伺いいたしたいところですが、それもかないません。何か疑問や質問そしてご意見がありましたらお寄せください。

年号が平成から令和にかわり、どのような時代になるのだろうかと期待を抱いておりましたが、年号が変わってすぐの5月には、九州地方で大雨による浸水。翌6月には山形県で地震。そして、8月に入ると度重なる台風が日本列島に上陸し、大きな傷跡を残していきました。一旦落ち着きを見せたと思いましたが、一昨年 of 年末に発生した新型コロナウイルス感染症が世界各国で猛威を振るい、一年半が経過した現在でも私たちに元のような安心した暮らしが戻ってきません。

春光台におきましても大きなクラスターが発生して、心が痛む静かな年末年始を過ごしたのが昨日のようです。まだまだ気をぬけません。一日でも早く、ワクチンが広く国民に行きわたり、心から安心できる治療薬が開発されて、元の安泰な生活に戻ることを祈らずにはられません。

それでは、あらためて『ふくし』(福祉)ってなんだろう?と、考えてみます。

「ふ」ふつうの

「く」くらしの中で

「し」しあわせを見つけること

この三つの文章の頭文字をつなげると「ふくし」になります。

言葉遊びだけでなく、上記の文章のように「ふくし(福祉)」とは、特定のだれかではなく、“みんなが幸せになれるよう”に取り組む活動や仕組みのことを指します。

その具体的な内容は、行政等が実施する公的サービス(施策)や施設・事業所の福祉サービス、ボランティア活動、助け合い活動などがあげられます。

それでは、その中の「ボランティア活動」に焦点をあててみます。

「ふ」ふつうの 「く」くらしの中で 「し」しあわせを見つける ために、アイデアを出し合ったり、体を使って汗をかいたりして、『生活をよくしよう、困っていることを解決しよう』とする活動です。

“何かしよう” “何かしてあげよう”と、構えるのではなく、気軽に“自分の出来ること”からやるのが良いと思います。

是非、私たちと一緒に活動してみませんか。



困りごと 心配ごとがありましたら お気軽に下記の委員にご相談ください



- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| ●山本 勝幸 ☎51-7997
(社協会長) | ●樋口 信一 ☎52-7966
(社協相談役) | ●横山 孝 ☎54-3697
(市民委員会会長) |
| ●宮島 紀芳 ☎54-4315
(社協副会長) | ●信野 勇 ☎54-7939
(社協副会長) | ●柿崎 吉伸 ☎54-2585
(社協副会長) |
| ●赤坂 治美 ☎51-6918
(笑話会会長) | ●西 雅美 ☎53-4018
(社協事務局長) | ●池田 隆二 ☎52-9163
(民生児童委員) |
| ●岡本 時子 ☎53-6216
(民生児童委員) | ●三村 晃一 ☎51-2680
(民生児童委員) | ●斉藤 奈緒美 ☎54-8340
(民生児童委員) |

(2)

目的（地域福祉の理念）

鷹の巣福祉村地区のみんなが

安心して幸せに暮らすまちを目指そう

スローガン 「共に生き、共に暮らし、支えあう地域づくり」

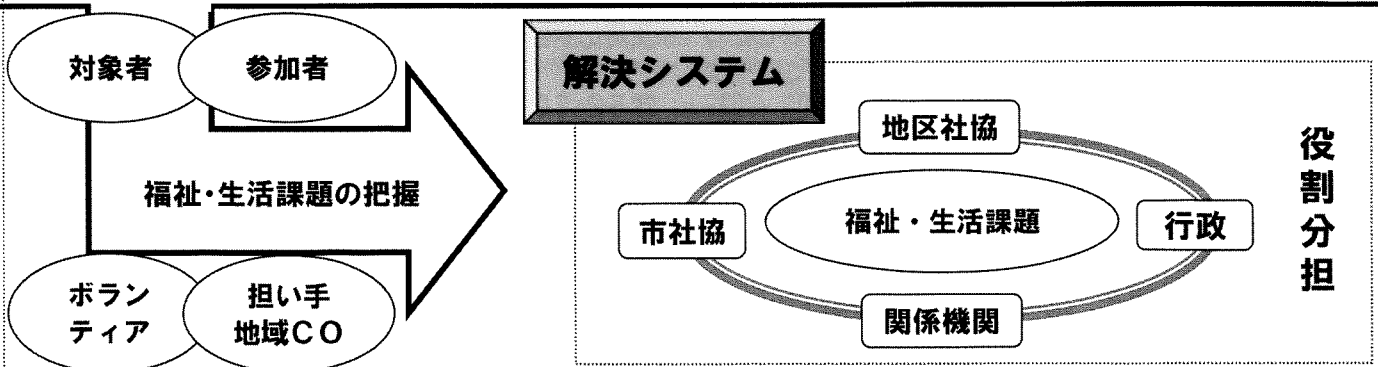
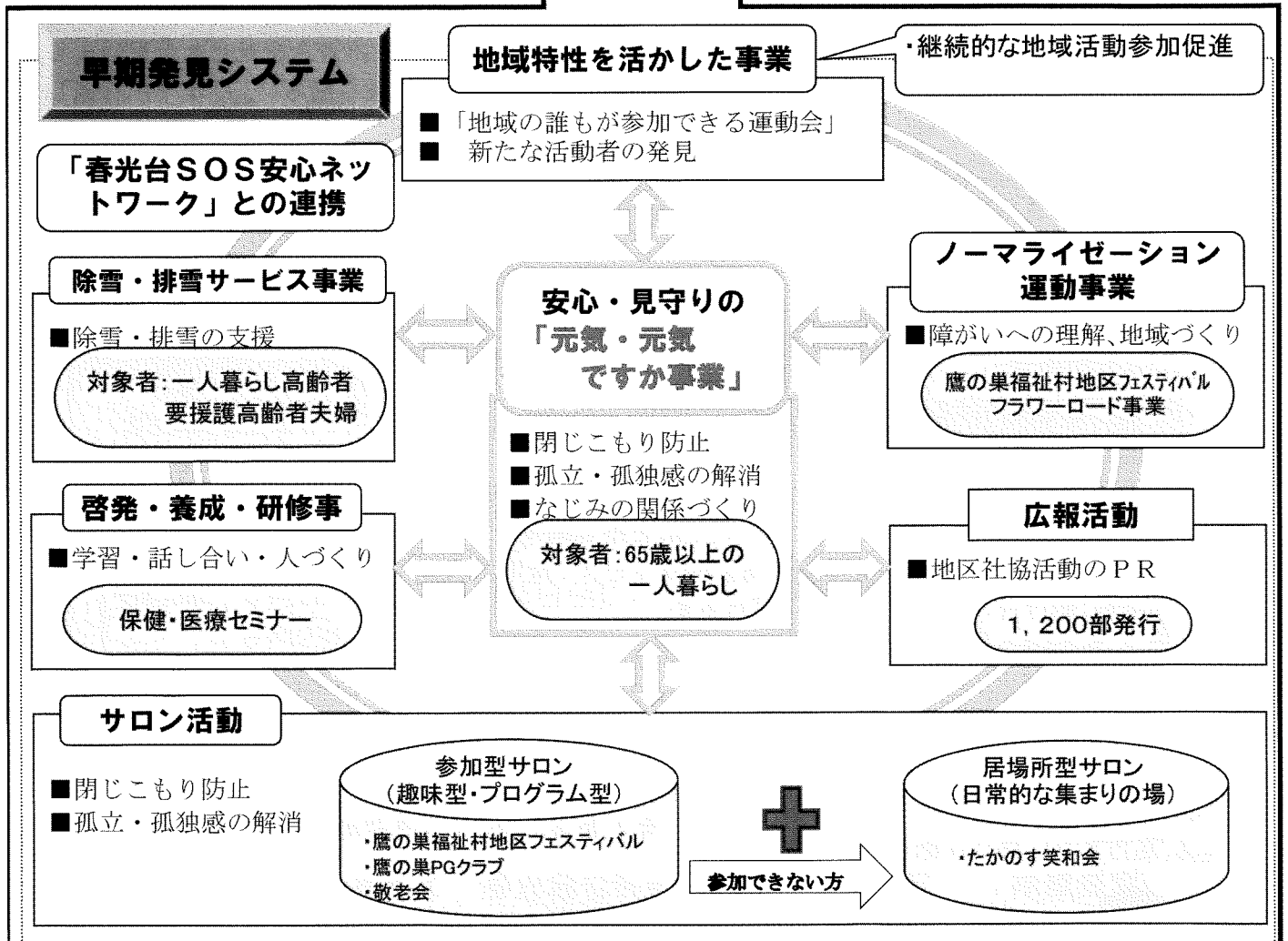
【基本理念】

ノーマライゼーションの具現化 ～お互いが、お互いのこと思い合い、共に生きる鷹の巣福祉村地区～

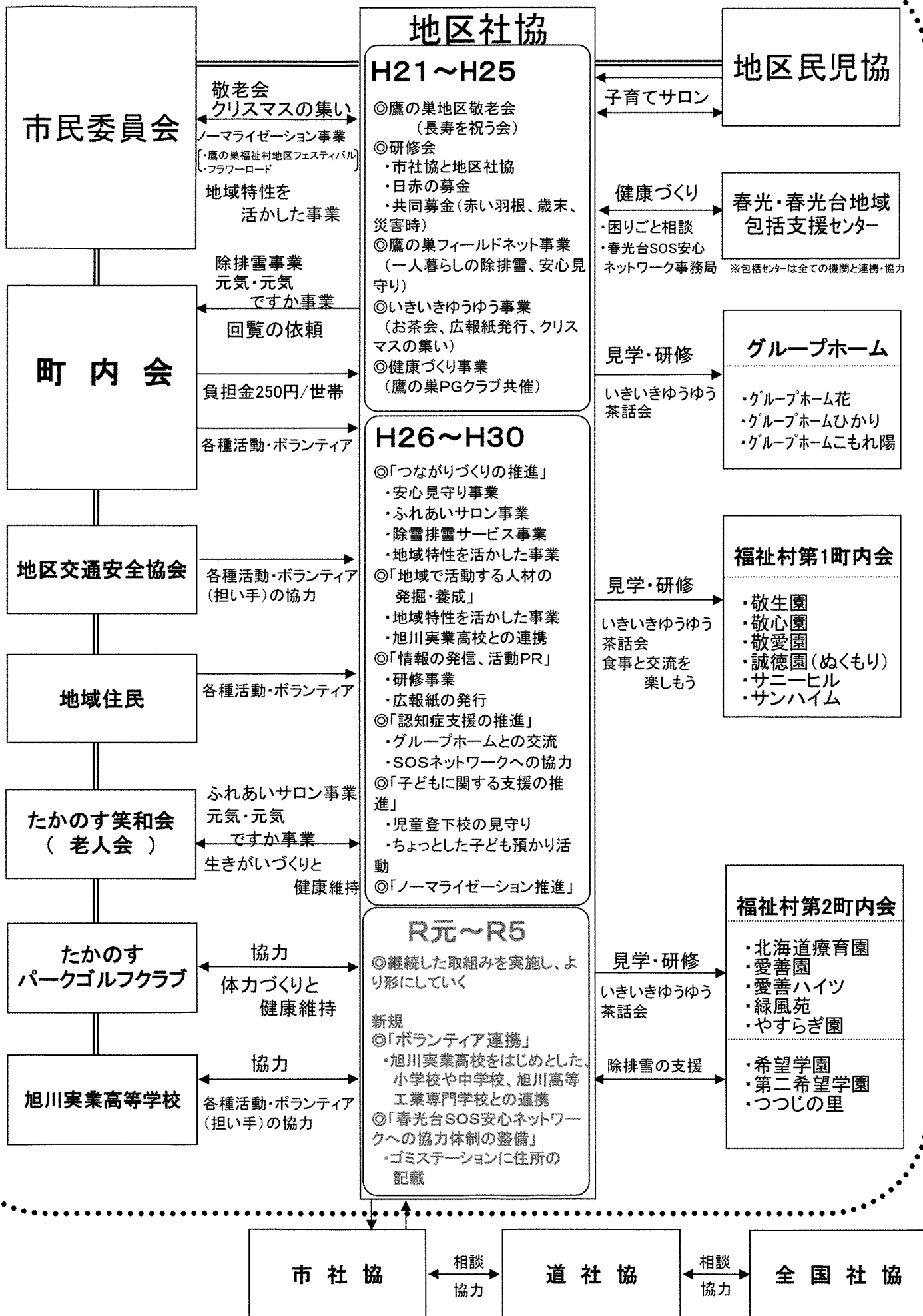
【私たちの想い】

老いも若きも、障がいがあってもなくても、社会の構成員として「誰もがともに生きる社会」を作ること

手段



鷹の巣福祉村地区組織





旭川実業高等学校サッカー部員が除雪ボランティア

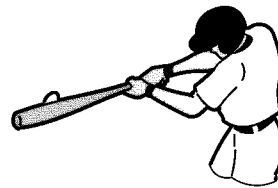
～いつもありがとうございます～

毎年恒例となりました実業高等学校のサッカー部員による、高齢者住宅の除雪が今年も行われました。高く積み上がりやり場のなかった雪が、あっという間に片づく光景は、まさに圧巻の一言に尽きました。額に汗をして奮闘してくれた選手諸君、ありがとうございました。

令和2年度は、全国高校サッカー選手権北海道大会の決勝で札幌大谷高等学校に惜しくも敗れ、全国大会の出場が叶いませんでした。試合は、終始押し気味でボールを支配していましたが、相手のゴールネットを揺らすことができず、後半の終盤相手にゴールを決められ、惜しくも0-1で涙をのみました。今年の躍進を心より期待しております。

後を託された1、2年生が冬場の体力増進と日ごろの応援への恩返しとして、毎年除雪ボランティアを行っていただいています。

3月には硬式野球部も除雪ボランティアを計画していましたが、降雪量が少なく活躍の場面がなくなってしまいました。来年の冬もよろしくお願いします。



子育てサロン ぴかぴか

子育てサロンとは…保育園や幼稚園に入園する前の乳幼児を持つお母さんやお父さんたちが交流できる場です。子ども同士が遊んだり、親同士の仲間づくりもできます。お子さんと一緒にお気軽に遊びに来てください。お待ちしております。

令和3年度

これからの“ぴかぴか”開催予定日

令和3年	6月28日(月)	7月26日(月)
	8月23日(月)	9月27日(月)
	10月25日(月)	11月22日(月)
令和4年	1月24日(月)	2月28日(月)
	3月28日(月)	

問合せ先は…

春光台地区 民生委員児童委員

- ・斉藤 奈緒美 (Tel. 53-8340)
- ・山崎 志津子 (Tel. 52-5209)
- ・富山 幸子 (Tel. 51-4002)
- ・佐渡 里子 (Tel. 73-3821)

☆お待ちしております！☆

☆10時から12時まで 春光台公民館(春光台3条3丁目) 1階講座室

編集後記

◇今年の冬は、積雪量が多く除雪に苦労しました。「もう(雪は)いらぬ！」、「雪のやり場がない」との声が聞こえてきました。

◇春の到来を心待ちにしていた方が多くいたのではないのでしょうか。

◇それでも、積雪ゼロを記録したのは四月一日(宮前の観測所)。昨年と比べ、四日遅れとのことですが、春光台は、それから七日遅れて積雪ゼロを迎えました。

◇コロナの猛威が収まる心配がありません。変異株が急速に拡大拡散をはじめ、またまた、緊急事態宣言が発出されました。ワクチンの予約がはじまりましたが、一般住民にすべて行きわたるの、いつになるのでしょうか。

◇お互い感染対策を強化して、この事態を乗り越えましょう。「明けぬ夜はない」という言葉を信じて…。

【ウエスト・ジャーナー】

この広報誌「いきいきうたか羽根」は赤の共同募金を受け付けています



赤い羽根共同募金